

会 議 録

- 1 附属機関等の会議の名称
第3期丹波篠山市教育振興基本計画策定委員会第2回会議
- 2 開催日時
令和元年8月1日（木） 13時30分から15時40分まで
- 3 開催場所
丹波篠山市役所本庁舎3階301会議室
- 4 会議に出席した者の氏名（敬称略）
 - (1) 委員 當山 清実（教育に識見のある者）、中西 健治（教育に識見のある者）
足立 眞理子（教育に識見のある者）、向井 祥隆（社会教育関係者）
山本 晴朗（社会教育関係者）、畑 早苗（学校教育関係者）
西嶋 睦美（学校教育関係者）、津瀬 雅之（学校教育関係者）
中道 博（学校教育関係者）、奥田 格（学校教育関係者）
 - (2) 事務局 稲山 悟、酒井 宏、小林 康弘、田中 真紀子、河野 元秀
- 5 傍聴人の数
0名
- 6 議題及び会議の公開・非公開の別
公開
- 7 非公開の理由
- 8 会議資料の名称
 - (1) 次第
 - (2) 第3期きらめき教育プラン（素案）
 - (3) 第1回策定委員会会議録
 - (4) 第1回策定委員会意見一覧 資料1
 - (5) スケジュール（変更案）
- 9 審議の概要
別紙のとおり

発言者	審議内容および発言内容
事務局	<p>1 開会 小林教育総務課長から諸説明</p> <p>2 あいさつ 當山委員長よりあいさつ</p> <p>3 報告事項 第1回策定委員会 意見一覧について</p> <p>資料に基づき事務局より説明</p>
事務局	<p>4 協議事項 第3期丹波篠山きらめき教育プラン（素案）について</p> <p>資料に基づき事務局より説明。</p>
委員	<p>指標の記載方法については、今後の時代背景を考慮し、量的な視点の記載に限らず質的な視点からの記載も検討してほしい。</p>
事務局	<p>教育委員会各課で調整し、意見を反映できるよう検討する。</p>
委員	<p>P. 1 「計画策定の趣旨」内で「人間は生き物であり、自然の一部である」との表記があるが、違和感を覚える。</p>
事務局	<p>独自性を持たせるために記載をしているが、内容について再考する。</p>
委員	<p>P. 16 「教職員の資質向上」内で教職員に係る資質向上の記載はあるが、社会教育に携わる職員に関する記載がない。</p>
事務局	<p>P. 20～p. 22 で社会教育に関する記載があるので、文章の内容を考慮して、記載を検討する。</p>
委員	<p>学校教育と社会教育の関連図、概念図のようなものがあればより理解がしやすいように思う。</p>
事務局	<p>事務局にて検討する。</p>
委員	<p>文頭記号の統一、施設名等の表記統一や今年度の年度表記がまだ平成になっているもの等が散見されるので修正を依頼する。</p>
委員	<p>p. 32 内の人口減少に関する資料は、今後対策を取らなかった場合の数値であるのか。</p>
事務局	<p>その通りである。</p>
委員	<p>p. 37 「働き方改革」で、語句同士に関連性がないように感じる。</p>

事務局	<p>また、4章以降で働き方改革についてあまり触れられていないように感じる。</p> <p>担当課と協議し、対応を検討する。</p>
委員	<p>p. 39「めざす人間像と培う力」(2) 培う力に記載されている「国際社会」の表現に違和感を覚える。</p>
委員	<p>培う力の内容から、「国際理解」が妥当であると考える。</p>
事務局	<p>事務局にて検討する。</p>
委員	<p>p. 41「各主体の責任と役割」内の公民館、図書館に関する記載について、「また～」以降の表記が不要であると考える。</p>
事務局	<p>事務局にて検討する。</p>
委員	<p>p. 38「基本理念」で、丹波篠山市の独自性を表現するならば、教育基本法に関する表記を削除しても良いと考える。</p>
事務局	<p>事務局にて検討する。</p>
委員	<p>p. 39「めざす人間像と培う力」(2) 培う力の「公共尊重」中での表現に価値観の押し付けを感じる部分がある。</p>
委員	<p>p. 39「めざす人間像と培う力」(1) のめざす人間像の中で、抽象的な表現で同様の意味が記載されており、(2) の培う力の中では、特筆する必要がないように思う。</p>
事務局	<p>表現、記載について事務局にて検討する。</p>
委員	<p>p. 41～42「各主体の責任と役割」について、子どもは、教育を受容する立場だけではなく、教育を実践する主体として表記しても良いのではないかと。社会教育では、全市民が主体であるので検討してほしい。</p>
事務局	<p>県のプランでは、学校教育からの観点で記載があり、「子ども達の成長にかかる当事者として教育行政、教育機関、保護者、地域が責任と役割を果たす」とされている。</p>
委員	<p>教育を提供する側という視点からの記載とし、子どもは主体として記載せず、現状通りとする。</p>
委員	<p>p. 37 では経済的支援が必要な児童生徒数を詳細に表記しているが、p. 41 では対応策が抽象的に表現されている。市民が不安感を抱くのではないかと。</p>
事務局	<p>教育行政だけでは解決できない問題であると考えている。問題提起の意味も含め、危機的な状況にあることを社会に理解してもらうため、また教育行政にできることを模索していることも表現するためにこのような表記としている。</p>
委員	<p>p. 47「豊かな個々の育成」の中で、LGBT等に関する記載をしても</p>

委員	<p>よいのではないかと。 同ページの中に多様化という表現がなされている。包括的な表現であり、LGBT 等も含まれると考えられるため特筆はしないとする。</p>
委員 事務局	<p>p. 53 「教職員の資質能力向上」の中で、働き方改革と資質能力の向上についての記載が混在しており分かりにくい。 記載の仕方については、事務局にて検討する。</p>
委員 委員	<p>p. 55～58 「人生 100 年時代を豊かに生きる学びの推進」で外国人や障害がある方に関する記載があっても良いのではないかと。 区分の仕方によると考える。住民ごとの属性に区分して記載するのではなく、スポーツ、文化芸術、自然遺産など事業項目での区分をしているので、全住民に当てはまる記載となっており、修正は不要と考える。</p>
	<p>5 調整事項 第3回策定委員会の日程調整</p>
	<p>6 閉会</p>